

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>ぜんみょうざんちゅうれん</small> 前明山中蓮線					
事業箇所	半田市 <small>みなとほんまち</small> 港本町					
事業のあらまし	<p>都市計画道路前明山中蓮線は、半田市東部を南北に縦断する主要幹線道路である。本事業箇所はJR武豊線と平面交差しており、交通渋滞の原因となるとともに、市街地の活性化を阻害している。</p> <p>また、本事業区間は、通学路に指定されているものの、歩道幅員が狭く、歩行者や自転車の安全性の確保が求められている。</p> <p>このため、「歩行者・自転車の安全性向上」、「交通円滑化」を主な目的として、JR半田駅付近連続立体交差事業と合わせて現道拡幅を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 交通事故対策(歩行者・自転車の安全性向上)</p> <p>② 地域の活性化(交通円滑化)</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	10.2 億円		□工事費 1.0 億円、□用補費 9.0 億円、□その他 0.2 億円			
事業期間	採択予定年度	2023 年度	着工予定年度	2023 年度	完成予定年度	2027 年度
事業内容	<p>現道拡幅</p> <p>延長：L=270m、幅員W=20m（2車線）</p>					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>① 交通事故対策(歩行者・自転車の安全性向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業区間は通学路に指定されているが、歩道幅員が狭く、歩行者や自転車の安全性の確保がされていない。 ・JR武豊線の高架化と合わせた歩道幅員の拡幅により、歩行者や自転車の安全性の確保が急務となっている。 <p>② 地域の活性化(交通円滑化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切があることや自転車の車道部への混入により、円滑な交通が阻害される状況にある。 ・交通の円滑化を図るため、JR武豊線の高架化に合わせた踏切の除却及び本事業区間の拡幅整備を実施することが求められている。 				
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR武豊線の高架化と合わせて、本事業区間を整備することで、歩行者・自転車の安全性向上及び交通の円滑化が図られるため、事業実施の必要性が高い。 			

②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">10.2</td> <td>10.2</td> </tr> </tbody> </table>								2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種 区分	調査・設計	←	→				0.2	用地補償		←	→			9.0	工事				←	→	1.0	事業費（億円）		10.2					10.2
			2023	2024	2025	2026	2027	合計																																					
	工種 区分	調査・設計	←	→				0.2																																					
		用地補償		←	→			9.0																																					
工事					←	→	1.0																																						
事業費（億円）		10.2					10.2																																						
2) 地元の合意形成	<p>・地元自治体から早期整備の要望を受けており、鉄道事業者とは事前に調整を図っている。今後、早期に事業説明を行い、沿線地権者の理解を得る予定である。</p>																																												
判定	<p>A</p> <p>A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】</p> <p>・円滑な事業推進に向けた環境が整っており、事業の実行性が確保されている。</p>																																												
III 対応方針																																													
事業実施が妥当である	<p>事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。</p>																																												
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																													
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>・交通量（全車、大型車）、旅行速度、安全性の改善状況</p>																																													